

## 書塾の仲間たち

第 213 回

### 鈴木書道教室（神奈川県横浜市）



#### ●書塾からひとこと●

私たちの教室は、球技場や馬術練習場などがある三ツ沢公園（横浜市）の側にあります。横浜港に面した再開発地区「みなとみらい21」を一望できる高台にあり、暑い夏も寒い冬も子供たちは坂を上がって来ます。小さい子供たちは、お稽古が終わりお迎えを待つ間に爆睡なんてこともしばしば。他の子たちは優しくその側で自分の書に集中します。

小さい教室ではありますが、頑張って書いた子の作品が時折、写真版に掲載されるので、子供たちは本が届く日を楽しみにしています。皆「写真版に載りたい」を合い言葉に稽古に励んでいます。高円宮杯公募展では、去年より今年は良い賞をもらえるようにと、一層力が入ります。

幼い頃の体験や喜びは一生覚えていて。学校の書写的授業で上手く書けたり、選ばれて展覧会に出してもらったり、お友達にほめてもらったりと、嬉しいこともたくさんあります。上手く書けないことにいらだちながらも少しずつ自信をつけて成長していく姿は、「継続は力なり」という言葉そのものです。大人のお稽古では、「日本人に生まれたのだから、古典を読んで書けるようになる」目標に平安仮名を学び、古典を書いています。写経や中国の古典から漢字を学んで、筆になじんだ後は、実用書や創作を身につけるなど充実したお稽古を楽しんでいます。指導者としての資格を取り、自分のスキルアップにとどめなく、古典を読めます。文字を書くことが少ない現代ですが、「書写書道」のすばらしいお手本と先生方に感謝し、教わったことを次世代に伝えていければと思います。

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。  
神奈川県横浜市  
鈴木書道教室  
鈴木 好子



きれいな字を書きたい

横浜山手中華学校小学部二年 満

智豪ともひで



## 私と書写書道 第213回



私にとつて身近な書道

我孫子市立湖北台中学校一年 廣川 彩葉ひろかわ いろは



私は書道を六歳の時に始めました。始めたきっかけは、兄が幼稚園の書道教室に通っていたからです。二歳上の兄に憧れていた私は、よく兄の真似をしていて、書道も兄と同じことがしたくて始めました。

書道は、準備や片付け、自分に合った筆選びなど、細かい準備が必要でたくさんのがかりますが、用紙に向かって書いている間の集中力が、学校や家の勉強などにつながっています。また、うまく書けた後の気持ち良さが、忘れられません。自分のためになり、心が軽くなったりするので、今でも書道を続けられています。

私は、高校受験や大学受験など、これから自分との戦いがたくさん待っています。その時に、この「身近な書道」で心を休めたり、爽快感を味わつて、どんなにつらかったり、苦しかったりしても、「よし、頑張るぞ」という気持ちで取り組んでいきたいと思います。そのためには、筆の運び方や太さ、形の考え方などをどんどん磨いていかないといけないので、これか

らも書道に気持ちを入れて頑張っていきたいです。

学校でもノートチェックの時、先生に「きれいな字ですね」とほめられました。みんなに「上手だね」と言わると、うれしい気もちになつて、もつとれんしゅうしようと思ひます。

今は、習い事や学校のしゅくだいなど、毎日いそがしいけれど、先生に教えてもらひながら、れんしゅうをかさねて、いつでもきれいな字が書けるようにしたいです。そしてまた、金しょうがとれるようにがんばりたいです。